

なんYA! かんYA!

芸術の秋は過ぎ去り、年が明けたら受験シーズン。
でも、入った高校にお目当ての部活がないと大変！
今回はそんな、「部活動でくらべてみました。文化部編」です。
(運動部編は vol.10 で紹介しています)
変わっていることもあるから、詳しくはお問い合わせを…。

	水口 高校	水口東 高校	甲南 高校	信楽 高校	甲西 高校	石部 高校
吹奏楽	○	○	○		○	○
演劇		○	○		○	
書道	○	○	○		○	
茶華道	○	○	○		○	○
美術・アート	○	○	○	○	○	
合唱		○	○			
写真	○	○		○		
E.S.S	○	○				
文学・文芸	○	○				
コンピュータ		○				○
科学部		○			○	

※各高校 HP・学校案内パンフレットより

陶芸部 新聞部 将棋部 放送部 MSGC

(ミナクチヒガシスパー・グローバルクラブ)

= 信楽高校 = 甲西高校 = 石部高校 = 石部高校 = 水口東高校

トショブラ♥ ~図書館にない本のリクエスト

「読みたい本があるけれど、図書館にない…」そんなときに使える“予約・リクエスト”サービス。図書館が所蔵していない資料でもできるって知っていますか？発売日がわかっていれば発売前の資料でもリクエストできます。図書館のカウンターで申し込むか電話でご連絡ください。甲賀市図書館になくても他の図書館から取り寄せたり、購入してご用意します。リクエストができないものはマンガ、CD、DVD、問題集など。(甲賀市図書館にあるものは予約可) 詳しくは図書館へお尋ねください。お気軽にどうぞ！

発行：甲賀市図書館

水口図書館 : 63-7400 土山図書館 : 66-1056

甲賀図書情報館 : 88-7246 甲南図書交流館 : 86-1504

信楽図書館 : 82-0320

ホームページ : <http://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信

ホンマニ!

vol.12

2020. Winter -Spring

Koka City Library

ヤングアダルト (Young Adult) とは、13 歳から 19 歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ!』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

いっしょに半分だけ生き返ろう

おすすめ この1冊

『死神うどんカフェ1号店』

石川宏千花／著
講談社



高校では友達を作らないと決めて、淡々とした毎日を送っていた希子は「死神うどんカフェ1号店」という不思議な名前の店を見つける。そこで再会したのは自分を助けるために川に飛び込み、意識不明の重体で眠り続けているはずの三田亜吉良だった。半死人の三田が働くその店は、うどんの美味しさに魅了され、うどんを打つために死神を辞めた星海が開いた店だったのだ…。息をひそめるように、何も楽しまないように心掛けていた希子だったが、世慣れない死神たちを放っておくことが出来ず店に通う内に、閉じたはずの希子の心に変化が訪れる。

どうしようもない後悔があって前を向けない時、不器用な死神たちがそっと寄り添ってくれるでしょう。

●いろいろなタイプのイケメン車夫が登場！

『車夫』

いとうみく／著 小峰書店



両親が相次いで行方をくらまし、高校を中退せざるをえなくなった17歳の吉瀬走（そう）。お金もない、頼る人もいない走に、陸上部の先輩が人力車のひき手「車夫」をやらないかと声をかけてきた。家族、学校、部活動、すべて失った走だったが、個性派ぞろいの仕事仲間やお客たちとふれあう中で、あらたな自分の居場所を見つけていく…。

悲惨な境遇の主人公だけれど、周囲の人たちのおせっかいがとにかく優しく、ほっとあたたかい気持ちになります。せつなくも爽やかな青春小説。

●「手紙」の歌詞が物語をさらに深くする

『くちびるに歌を』

中田永一／著 小学館



1年間の任期で長崎県五島列島のある中学合唱部の顧問となった柏木先生。先生を中心に、サトル達合唱部は夏のNHK全国学校音楽コンクール（通称Nコン）を目指す。課題曲「手紙～拝啓 十五の君へ」にちなみ、先生は部員達に十五年後の自分に向けて手紙を書くよう宿題を課す。そんな彼らの手紙にはそれぞれ誰にも言えない秘密が書かれていた…。

課題曲の作者、アンジェラ・アキさんのテレビドキュメンタリーをもとに小説化された感動の青春小説です。泣きたいならこれです。

●超文系女子、数研に潜入！

『無限の中心で』

まはら三桃／著 講談社



新聞部の友人に急遽、記事を頼まれた野崎とわ。取材先は、よりによって数学オリンピック出場を目指す数学研究部。とわは、数学が大の苦手なのだ。恐る恐る行ってみると、個性派ぞろいの数研は「木曜日のミステリー」とかいいう謎と格闘していた。月曜日に解きかけの問題を忘れて帰ったら、次の活動日である木曜日には問題が解かれていたということが続いているらしい。数学の話聞いても「ぺらぺらぺら」としか聞こえないとわだが、この謎を追いかけることにした。問題を解いたその特徴的な筆跡に見覚えがあったのだ一。

●君が幸せになるために考えてほしい大切なこと

『なぜ僕らは働くのか』

池上彰／監修 学研プラス



働くこと、学校で勉強することが脅かされた、今春。不安を抱えながら、進学や就職の道に進んだ人も少なくないはずです。本書は、ジャーナリストの池上彰さんを中心に、現役の学生と社会人が加わって、様々な側面から「仕事」、「働くこと」について分かりやすく書かれています。

勉強に身が入らない人、将来何をしたいか分からず不安を抱える人など。日々変わりゆく世界で生きている悩める人に贈りたい、人生の道標となる1冊です。

●奇跡の感覚を手に入れた

『1は赤い。そして世界は緑と青でできている。』

望月菜南子／著 飛鳥新社

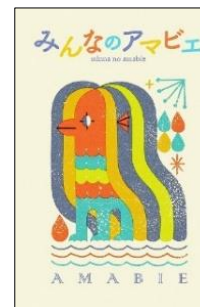


著者である大学生の望月さんは17歳の時、衝撃の事実を知ります。それは、他の人には“文字や数字に色が見えていない”ということ。そう、彼女は物心がついた時から、文字や数字にそれぞれ色がついて見えているのです。1は赤、2はピンク、3は黄緑に。このように1つの刺激に対して2つ以上の感覚を感じることを「共感覚」と言います。他にも音に色を感じる、味に形を感じる、痛みに色を感じるなど様々なタイプがあるそうで、望月さんは「色字共感覚」です。そんな、“人と違う”ことに誇りと喜びを感じている彼女の人生は文字に彩られています。

●妖怪「アマビエ」、それは愛すべきキャラクターだった？！

『みんなのアマビエ』

扶桑社



妖怪「アマビエ」を知っていますか？江戸時代の瓦版によれば、肥後（熊本）の海に現れ、「豊作が続くが、病も流行する。早々に私の姿を写して人々に見せよ」と言ったとか。描くことでご利益があるかはさておき、コロナ禍の日本で疫病退散を願ってSNSを中心に拡散。この本にはそんなアマビエをモチーフにした数々の作品が集結！

漫画家のイラストからクリエイターによる作品まであわせて87点。あみぐるみ、陶芸、ネイルアート、はては和菓子の練切まで…君はどのアマビエが好き？